

国史跡 会津 大塚山古墳



古墳を横から見た状況(東から撮影)

大塚山古墳は、会津若松市一箕町の大塚山墓園がある丘陵の頂上に位置しています。

「前方後円墳」という円形と長方形を組み合わせた形をしており、前方部、後円部ともに、平坦な面が2段から3段造られています。

※
前方後円墳を造ることができたのはヤマト政権から許されたものだけで、全長は約114mで東北地方有数の大きさです。

大塚山古墳の南側には不動川ふどうがわが流れており、その上流には堂ヶ作山古墳どうがさくやま、飯盛山古墳いもりやまという大型の古墳があります。この地域を治めていた権力者の墓と考えられます。

※ヤマト政権
奈良県周辺を中心とした地域の連合政権。この政権を中心に各地が統一されていきました。

